

La vida de HONDURAS 土屋晶子さんからのお便り

スペイン語で「ホンジュラスでの生活」という意味です。 Vol.03



¡FELIZ AÑO NUEVO! あけましておめでとうございます。

11月に行われた「日本文化紹介祭」と、ホンジュラス流「クリスマスの過ごし方」を紹介します。

◆日本文化紹介祭◆

ホンジュラス唯一の世界遺産がある街、美しいマヤ文明の遺跡が残るコパン市で11月4日に開催された「日本文化紹介祭」に参加してきました。日本から2000～2004年にホンジュラスへ援助した額は、年平均で約53億円。多いときには年額70億円を超えるにも関わらず、ほとんどの人々が日本について知らないのです。日本人だと話しても、「中国語がしゃべれるんでしょう?」と、日本と中国の区別がつかない人々ばかり。私も日本の税金でボランティアをしている身! 常々「もっと日本のこと知ってもらいたい」と感じていたので、喜んで参加しました。

当日は、約30人の隊員で作り上げた「北海道発祥のよさこいソーラン節」「沖縄発祥のエイサー」、さらに隊員の特技を生かして獅子舞や和太鼓・傘回り・琴などを発表しました。また、書道や浴衣の試着、折り紙教室等にも人々が押し寄せ、会場は市民や観光客であふれかえる大盛況ぶり。特に子どもたちは他国の文化に興味津々!! 中には「将来日本語を学びたい」という子どももいて、「もしかしたら、将来この子が日本とホンジュ

ラスの架け橋になるのかも」と子どもの可能性に、そして日本に興味を抱いてくれる市民の笑顔に改めて自分がここにいる意義を覚えてもらったとともに、ここでの生活に少し疲れ気味だった私はパワーをもらうことができました。ちなみに、よさこいソーランもエイサーも、もちろんここで習いました。日本文化紹介とはいえ、私にとっても異文化体験! 日本文化を知る良い機会になりました。

◆ホンジュラス流クリスマス◆

ホンジュラスは、大部分がカトリック教徒。11月中旬から日に日にクリスマス色を増していく街を見ながら「生ぬるいクリスマスじゃなさそうだな…」と覚悟していたものの、やはり驚くべき大イベントでした。ホームステイ先には3家族が集い、約20人のパーティー。夜10時頃からダンスが始まり、12時にお祈りをして食事開始。クリスマス料理は、とうもろこしの粉の生地に牛肉・じゃがいも・米などを包み、バナナの葉で巻いてゆでたナカタマル、食パンを砂糖とシナモンで煮こんだトレハ、豚の足をオープンで焼いたピエルナ

デ・セルドの3品。私は巻き寿司を振る舞いましたが、海草を食べたことのないホンジュラス人にとっては「何この黒い紙?!」と、海苔が大不評。皆、海苔をはがして食べる始末。文化の違いとはいえ、わざわざ首都で日本の4倍の値段で購入してきた私にとっては、辛い光景でした。食事の後は、道路で爆竹や打ち上げ花火。どこの家でも鳴らしているものだから、街中から花火の音と興奮する子どもたちの声、野良犬の叫びも加わり、想像を絶する騒音にクラクラ。そして容赦なくダンスが再開され、パーティーが終わったのは3時過ぎでした。

日本では恋人や友人と過ごすクリスマスが一般的ですが、ここでは、誕生日やクリスマスなど大切な日は家族と過ごすようです。「娯楽が少ない」と言ってしまうかもしれませんが、日頃から家族といる時間が長く、つながりが強いように感じます。また、軽く抱き合うハグやキスも日常です。男子高校生と母親が手をとって踊る姿には、やはり少々抵抗があるものの、日本にはあまりない家族の絆の強さから、学ぶべきものがたくさんあるように感じます。

Camera Report

カメラリポート



まゆだま作り 1月13日【平和台児童館】

お手玉で遊ぼう! 1月6日【エコールみよた 和室】



消防出初式 1月8日【エコールみよた・御代田駅前】



かがみ開きの後のおしるこ 1月11日【杉の子幼稚園】

